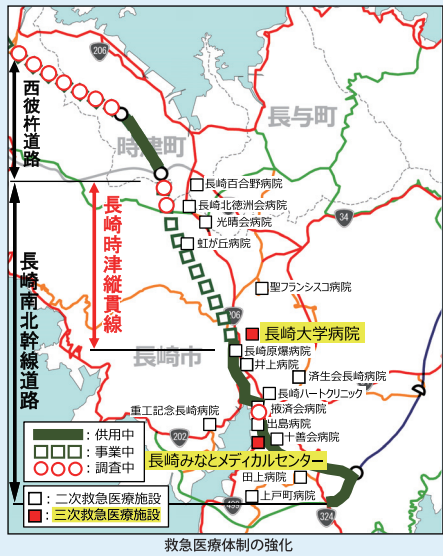
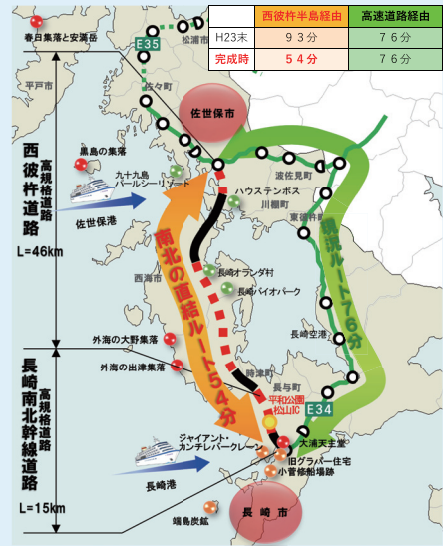


長崎地域と佐世保地域間の連携強化、産業・経済の発展を支援する「長崎南北幹線道路」

■整備目的

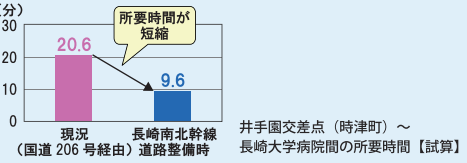
◎高速移動の確保
〈地域間の連携強化〉
高規格道路ネットワークを形成し、主要都市間の移動時間短縮による地域間の交流促進や連携強化を図り、観光振興や産業振興などに大きく寄与します。



◎渋滞の緩和
〈交通混雑の緩和〉
国道 206 号の朝夕の混雑緩和により、通勤・通学時間が短縮するとともに、物流の効率化にも貢献します。
〈公共交通の利便性向上〉
路線バスの定時性向上により、公共交通の利用促進が期待されます。



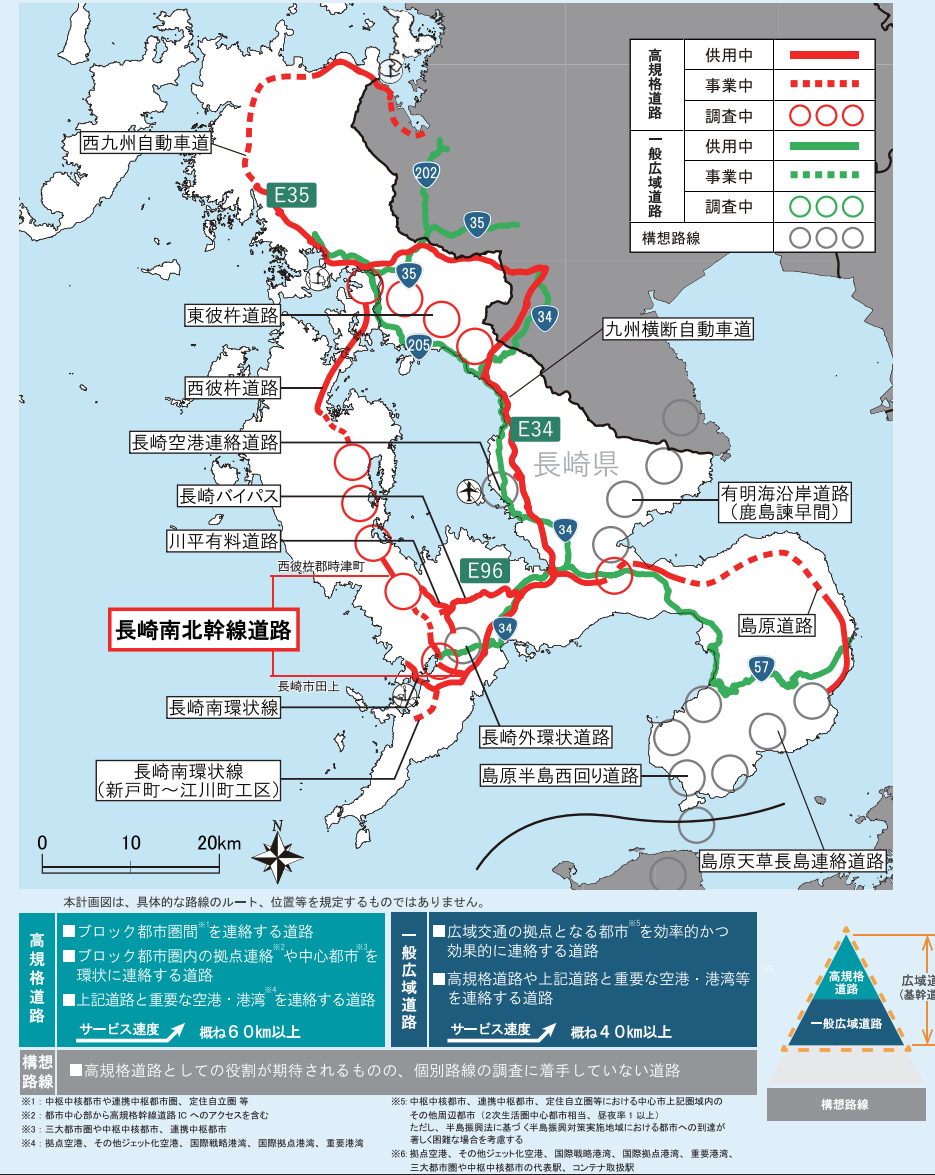
◎リダンダンシーの確保
〈ダブルネットワークの形成〉
長崎時津縦貫線の整備により、国道 206 号とのダブルネットワークを形成し、災害発生時の代替路としての役割など、救助・救援活動を支援します。
◎救急医療体制の強化
〈救急搬送の支援〉
長崎時津縦貫線の利用により、緊急搬送時間が短縮することで、救命率が向上します。
〈救急医療体制の充実〉
三次救急医療施設へのアクセス性向上により、医療施設間の連携が強化され、救急医療体制が充実します。



長崎県 広域道路ネットワーク計画

「長崎県新広域道路交通計画」における広域道路ネットワーク計画は、平常時・災害時を問わない安定的な物流・人流の観点から、今後20～30年間を見据えた総合交通体系の基盤となる計画です。
県内外の主要拠点間を繋ぐネットワークや環状に連絡するネットワークなどで構成します。

新たな広域道路ネットワーク図【長崎県】



高規格道路
長崎南北幹線道路
都市計画道路 長崎時津縦貫線



提供：ジャパネットホールディングス



提供：長崎市



提供：長崎県観光連盟